

口腔外科学

講 師	二 宮 秀 則	実施時期 単 位 数	第 2 学年前期 2 単位 （30 時間）	実務経験	○
一般目標 (GIO)	歯科衛生業務を行うために必要な顎・口腔領域に生じる各種疾患の特徴と症状、診断法および治療法を理解する。				
授 業 概 要	顎・口腔領域に生じるう蝕・歯周病以外の疾患について、診断と治療を理解する。 また、口腔外科処置や手術における、歯科衛生士の役割や業務についても習得する。				
学 習 方 法	講義・VTR視聴				
成績評価の方法	定期試験				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ 「口腔外科学・歯科麻酔学」 医歯薬出版				
履修上の注意	歯科衛生士として社会に出てから「もっと勉強しておけばよかった」と感じる科目です。 単なる国家試験対策に留まらず、幅広い知識を習得してほしい。				
参 考 書	全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議 (監) 口の中がわかる ビジュアル歯科口腔科学読本 クインテッセンス出版 2017年				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	口腔外科の概要	顎・口腔領域に生じる各種疾患を分類できる。口腔病変と全身疾患の関係を説明できる。歯科治療で問題となる基礎疾患と対応について説明できる。
2	顎・口腔領域の先天異常と発育異常	先天異常(口唇・口蓋裂など)と発育異常(顎変形症など)の症状と治療法を説明できる。
3	口腔領域の損傷	歯の外傷、歯槽骨骨折、顎骨骨折および軟組織損傷の症状と治療法を説明できる。
4	顎関節疾患	顎関節疾患(脱臼、顎関節症、顎関節強直症など)の症状と治療法を説明できる。
5	口腔粘膜の病変	各種口腔粘膜疾患の種類と症状および治療法を説明できる。口腔に症状を現す血液疾患(貧血、白血病、血友病、特発性血小板減少性紫斑病、播種性血管内凝固亢進症候群[DIC]など)の特徴を説明できる。
6	顎・口腔領域の化膿性炎症疾患	歯槽部、顎骨および周囲組織の炎症(菌性感染)の原因、感染経路と症状および治療法を説明できる。
7	顎・口腔領域の嚢胞性疾患	顎骨および口腔軟組織に発生する嚢胞の種類と症状および治療法を説明できる。
8	顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患	顎・口腔領域の良性腫瘍、悪性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類と症状および治療法を説明できる。
9	唾液腺疾患	唾液腺疾患(唾液腺炎、流行性耳下腺炎、唾石症、唾液腺腫瘍)の症状と治療法を説明できる。
10	口腔領域の神経疾患	顎・口腔領域の神経疾患(三叉神経痛、三叉神経麻痺、顔面神経麻痺、舌痛症、オーラルディスキネジアなど)の症状を説明できる。
11	口腔外科手術(1)	拔牙・口腔外科小手術(消炎手術、止血処置、歯槽骨整形術、根尖切除術、嚢胞摘出術・嚢胞開窓術、骨折手術、口腔インプラント手術)の手順を説明できる。
12	口腔外科手術(2)	拔牙の適応と禁忌を説明できる。拔牙・口腔外科小手術の術中・術後の局所的偶発症および術後の注意を説明できる。止血処置と縫合処置を説明できる。
13	歯科麻酔と全身管理(1)	麻酔の目的を説明できる。バイタルサイン、経皮的動脈血酸素飽和度[SpO ₂]を説明できる。各種局所麻酔法と施術時の注意点、局所的偶発症を説明できる。
14	歯科麻酔と全身管理(2)	精神鎮静法と全身麻酔の適応症と種類を説明できる。歯科治療時の全身的偶発症(神経性ショック、過換気症候群、アナフィラキシーショック)とその対応を説明できる。救急蘇生法について説明できる。
15	周術期口腔ケア	がん手術、心臓・循環器手術や臓器移植手術における手術前後の口腔衛生管理による手術時のトラブル防止、誤嚥性肺炎や局所感染の予防方法を説明できる。がんの放射線治療・化学療法による口腔粘膜炎症の予防とそれに対する口腔衛生管理を説明できる。